

# やまゆりニュース

「やまゆりニュース」第21号 発行日：平成29年2月1日  
 発行元 認定NPO法人あさお市民活動サポートセンター  
 〒215-0021 神奈川県川崎市麻生区上麻生1-11-5  
 TEL. 044-951-6321 FAX. 044-951-6467  
 発行人：植木昌昭 編集人：佐々木直子

## 川崎市麻生区市民活動支援施設 麻生市民交流館やまゆり

### CONTENTS

やまゆりからのお知らせ	1
<b>A</b> 【安全・安心】 いじめ防止。 まずはあいさつからはじめよう！	2
<b>S</b> 【サプライズ】 ドングリを食べてみよう	2
<b>A</b> 【アミューズメント】 黒川の竹	3
<b>O</b> 【お役立ち情報】 麻生区の絶滅危惧種を	3
第8回 区民講師公開講座	4

## 区民講師が100名の大台を超えました！

### 地域は人財の宝庫、今年の講座の紹介は4面にあります

平成22年2月から実施されている『区民講師公開講座（無料）』が今年で8年目を迎える。

「麻生区には素晴らしい人たちがぎっと多くいるに違いない。その方々にぜひ、舞台を準備するから手をあげて欲しい」という願いを込めて呼びかけ、昨年までに94人が、そして今年は3月から6月にかけて18人が区民講師としてデビュー、ついに100名の大台を超えることになった。

「地域は人財の宝庫」を実感させてくれる。

発表された講座は、「コグニサイズ・ヨガ・太極拳」など体を動かすものから、いろいろな分野の講座など多彩な内容がエントリーされており、詳細はチラシ、やまゆりのホームページなどで確認できる。

終了後、講師を中心に数多くの会が生まれており、昨年も「小倉百人一首の会」「やまゆりウクレレ倶楽部」など新しいサークルが生まれている。

なお、今までの区民講師は「やまゆり市民活動サポート窓口」で紹介されている。

### 区民講師による公開講座

マレーシアロングステイ  
(第5回)丸岡正廣さん



戦争と原爆の悲惨さ、平和と命の尊さ  
(第7回)森政忠雄さん



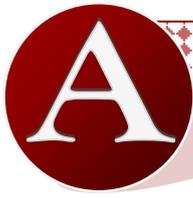
●ワインを楽しむ  
「やまゆりワインサロンの会」  
第6回「ワイン入門」の吉田邦夫  
講師から生まれた



区民講師のチラシを作成サポートしている「あさおPC楽会」の研修風景



むくげ  
●韓国語を学ぶ「無窮花の会」  
第2回「韓国の簡単なあいさつを学び、食文化を知る」のクオンソヨン講師から生まれた



# Anzen・Anshin 安全・安心

## いじめ防止。 まずはあいさつからはじめよう！



日頃から見守れば、小さな変化にも気づく

いじめの問題がなかなか解決されない。なかには自殺する子まであらわれ痛ましいかぎりである。いじめは子どもから大人までであるが、ここでは子どもについて原因と対策をまとめた。

いじめの問題点は、見えにくいことにある。子どもは家庭と学校と地域のなかで育つが、お互いに相手の場が見えにくい。そのうえ、いじめられた方も隠すのでますます見えにくい。しかしヒントはあると専門家は言う。

- ①学校の話をする機嫌が悪くなる
- ②無理に明るく振舞おうとする
- ③親に内緒で学校を休む(行ったフリをする)など。

保護者も先生も住民も、まさかという気持ちを捨て、あるかもしれないという目で見守り、気づいたらこまめにメモを残すことが大切である。すると

日頃の無意識が意識に変わり、小さな変化を見落とさなくなっていく。とくに子どもと接する時間が極端に少ない住民は、学校で黄色い腕章などを借りて通学路に立ち、出会った子どもにあいさつをしよう。半年もすれば少しずつ言葉を交わすようになり、変化にも気づきやすくなる。そして気づいたら先ずは学校長に連絡する。

しかし、学校の対応の悪さが目に付くが、いじめの経験がない先生や偉い方だけでは、残念ながら解決しない気がする。いじめ対策の検討には、いじめた、いじめられた経験者を加えるべきという説には共感する。

最後に、いじめの原因は家庭にもある。

- ①喧嘩して一方は謝り、一方は謝らない夫婦

- ②いつも不機嫌な顔をしている
  - ③仕事で疲れてかまってくれない
  - ④子どもの前で喫煙をしている
- 子どもは両親をかなり見ている。  
また先生にも原因がある。
- ①「いじめられる側にも問題がある」という発言
  - ②認識が甘いケンカ両成敗
  - ③「先生が守ってやる」は教師の傲慢
  - ④自分ひとりで抱え込む

やはり学校と家庭と地域と一緒にあって、チームで解決していくしかないようだ。

取材・文 区民記者 中島久幸



# Surprise サプライズ

## ドングリを食べてみよう

防災の催しでドングリホットケーキ  
キづくりを披露する岩田さん



ドングリを食べてみませんか。秋になると公園や林に落ちている、あのドングリ。「えっ、そんな食べられるの？」という声もありそうだが、ドングリはおいしい。食べ方を教えてくれるのは麻生区在住の岩田輝夫さんだ。

40年のキャリアを持つ陶芸をはじめ、スポーツや絵も楽しみ、文化協会や環境問題の委員会にも所属する岩田さん。ドングリ料理はその幅広い活動のひとつで、2年ほど前に教わる機会があり、その後は自ら地域の子もた

ちや友人、知人に折々つくり方を指南している。防災の催しで「いざという時の非常食に」と実演したことも。

ドングリとはブナ科の木の実の総称で、どれも食べられるが、岩田さんはあく抜きなしでも大丈夫なマテバシイを使う。洗って干したあと、カラをむいて、粉にするか、ゆでてペースト状にし、クッキーや団子、ホットケーキなどの材料とする。お汁粉の餡やドングリ味噌にもなる。「落ちているものでもちゃんと食べられるんだよ、縄文時代の人たちはこういうものを主食にしていたんだよ、というのを広く知ってもらいたい」というのがドングリ料理を手がける思いだ。

教えに従ってつくってみると、クッキーやホットケーキは香ばしく、素朴な味わい。団子はもちりとした食感。加工食品ばかりのなか、自然の味を思い出すにも、遠い縄文の昔に思いを馳せるにもいい機会となるドングリクッキングだ。

### ●岩田さん流ドングリクッキー・レシピ

- ①公園などでマテバシイのドングリを集めてきたら、よく洗って一日干す
- ②カラをむき、食品用ミルで粉にするか、ゆでてフードプロセッサーにかけ、ペースト状にする
- ③ドングリ粉6、薄力粉4の割合で、砂糖や卵なども加えてよく混ぜ、生地をつくる。(ドングリ粉220gなら、薄力粉150g、砂糖220g、卵1個、菜種油大さじ中さじ各1、ベーキングパウダー5g、バニラエッセンス少々。菜種油はバターやオリーブ油でも可)
- ④小さく分けてクッキーの形にし、冷蔵庫で1時間寝かす
- ⑤オーブンで焼く。170度で20分ほど。これでできあがり



ドングリクッキー



マテバシイのドングリ

取材・文 区民記者 佐藤次郎

# Amusement アミューズメント

たけあんどん

## 黒川の竹 竹行燈としてよみがえる

江戸の昔、行燈は生活の灯りとして普及した。その明るさは手元が見える程度のほんのりしたものだということ。今、その優しい灯りに安らぎを感じる人も多い。“黒川竹行燈の会”では地元の孟宗竹(もうそうだけ)を使い、竹行燈を作っている。



野島さん制作 直径15センチ、高さ40センチほどの竹に彫られた少女の横顔

会場の代表、指導者としても活動されている野島保さんにお話を伺った。最初に見せて頂いた作品は少女の横顔を彫った竹行燈。まつ毛や髪飾りの一つひとつの細密さに驚く。ドリルと工具を使って彫りすすむが、必ずつなぐ部分を残さ

なければいけないので集中力を使うという。現在16名いる会員の作品も自由な発想で思い思い表現されていて楽しい。なかに電気の光が入ると、黒いシルエットに命が吹き込まれ、動き出すかのように見える。これらの竹行燈は室内のインテリアや店の看板として利用されているという。

現在、残念なことに常設展示場を持っていない。興味のある方は野島さんに直接連絡してほしいとのことだ。



明治大学収穫祭で展示販売された。静物、風景、抽象模様などさまざまな作品が並ぶ



自宅制作場所で作品に囲まれる野島さん

野島さんは「黒川は自然に恵まれた地域で竹林も多い。子どもの頃、祖父母が竹を利用し、籠づくりをしている姿を見て育った。竹行燈が現代の生活にあった形で飾られ、将来は民芸品として根づいてくれたら嬉しい」と話す。

今年の大晦日には汁守神社に竹行燈が飾られ、新年の門出を一層美しく演出していた。野島さんの夢が一步步実現しているようだ。

### DATA

くろかわたけあんどん かい  
黒川竹行燈の会

のじま たもつ

代表：野島 保

連絡先：Tel.090-2747-9723

取材・文 区民記者 但木かこ

# Oyakudachi お役立ち情報

## 麻生区の絶滅危惧種を守る人々

麻生区内に、近い将来絶滅の恐れがある動植物がいるのをご存知だろうか？ ホトケドジョウ、タマノカンアオイ、キンランなどである。

これらの動植物が数を減らしてきたおもな理由は、生育環境が開発や汚染などで失われたためといわれ、川崎市内の生息地では、熱心な環境保全・保護活動が行われているところもある。

ちなみに、ホトケドジョウは岡上地区では絶滅したと考えられていたが、



私がホトケドジョウです。ずんぐりしてる体形が可愛いでしょう？

2005年に偶然発見され、以後和光大学の「かわ道楽」の学生によって保護・観察が行われている。

「かわ道楽」は学生サークルであるが、岩本陽児(いわもとようじ)教授が代表を務める地域・流域共生フォーラムなどの大学機関や地域住民とも協力して、野生動植物の保護活動を行っている。活動は地元岡上のほか、宮前美しの森、鶴見川流域各地などにおよび、希少生物の発見、アユ遡上の発見などの成果を上げ、多くの団体から高い評価を得ている。さらに、都市圏での自然保護活動は、地域に溶け込むことが必要だと理解し、子ども川遊び教室(注)、どんど焼きなどの行事にも積極的に参加している。

(注)かわ道楽のメンバーの多くが、子どもたちに環境教育や水資源の重要性を指導する講師となるのに必要な講習(プロジェクトWILD、プロジェクトWETのエデュケーター講習)を受講している。



下草刈り、間伐…暑さのなか、若さを武器に作業は続く。

岡上地区を含む鶴見川では、サギ、セキレイそしてカワセミ!や、暖かくなればスッポンの姿も見ることができるという。これも環境保全と保護活動の成果であろう。

多くの人々によるこうした活動が、さらに広範な理解と支持を得られることを願い取材を終えた。

### DATA

わこうだいがく どうらく  
和光大学かわ道楽

連絡先：和光大学地域・流域共生フォーラム

e-mail centr@wako.ac.jp

取材・文 区民記者 仲原照男

写真提供 和光大学 齋藤 透氏/かわ道楽

# 第8回 麻生市民交流館やまゆり 区民講師公開講座

## 3月

18日(土)	14:00～ 16:00	朝活に、ちょっと脳トレ	二神 順子
18日(土)	14:00～ 16:00	市民活動・地域活動での個人情報利用と活用	タシロタカヨシ
25日(土)	17:00～ 19:00	手書き文字で遊びましょう	松澤 弘治
26日(日)	14:00～ 16:00	私の学童疎開の思い出	熊谷 義昭
27日(月)	10:00～ 12:00	健康太極拳	田代 えり子

## 4月

1日(土)	14:00～ 16:00	心機一転！イキイキ若返り塾	ハナダサトシ
6日(木)	10:00～ 12:00	描いて彫ってスタンプ印を作りましょう！	亀田 正子
8日(土)	14:00～ 16:00	やさしい年金教室	廣嶋 一康
26日(水)	14:00～ 16:00	フラワーアレンジメント	霜倉 妙子
29日(土)	14:00～ 16:00	新しい時代への希望のメッセージ	加藤 真由己

## 5月

13日(土)	14:00～ 16:00	ストレスの気づき方とその対処・軽減方法	小林 速雄
14日(日)	10:00～ 12:00	コンディショニングヨガ	土屋みな子
27日(土)	14:00～ 16:00	地球温暖化防止に私たちにできることは	岩田 輝夫

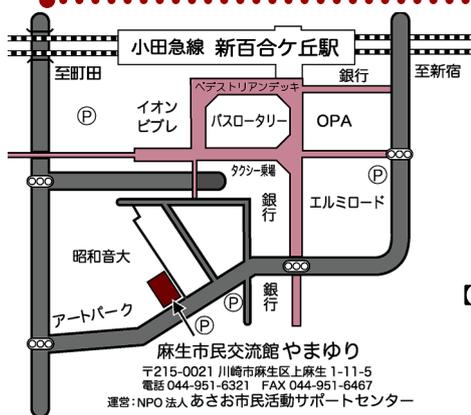
## 6月

3日(土)	14:00～ 16:00	スウェーデン工芸紀行	弓狩 直子
4日(日)	14:00～ 16:00	知っておきたい相続のこと	秋川 和之
17日(土)	14:00～ 16:00	おもいを身体表現してみよう	中原 岩夫
25日(日)	14:00～ 16:00	紙芝居「からすの天国さがし」	佐藤 英行
28日(水)	14:00～ 16:00	オリジナル・デコパージュ	永田 みどり

開催月の1ヶ月前に、講座のチラシを配布します。

詳細はチラシを参照ください。申込はチラシ裏面にてお願いいたします。

主催 認定NPO法人あさお市民活動サポートセンター 問合せ ☎044-951-6321 Fax. 044-951-6467



**【開館日】**  
月曜～金曜 9時30分～17時  
※平日の夜間、土曜・日曜、  
祝日も予約すれば利用可。  
休館：年末年始、施設点検日

**【アクセス】**  
小田急線「新百合ヶ丘駅」  
南口から徒歩4分

**【ホームページ】**  
<http://web-asao.jp/yamayuri/>

麻生市民交流館やまゆり  
〒215-0021 川崎市麻生区上麻生 1-11-5  
電話 044-951-6321 FAX 044-951-6467  
運営：NPO法人あさお市民活動サポートセンター

## あさお区民記者

区民による、区民のための  
情報発信を目的に活動。

区民記者は「やまゆりニュース」掲載記事の企画  
構成・取材撮影を担当しています。過去の取材記  
事はホームページに掲載しています。

<http://www.asao-ku.net/yamayuri-news.html>